

なのは **凌辱**
フェイト **フルカラー**



ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

For Adult Only

ジュジュ

ガガガガ



Next Preview
2012 SUMMER

それは、「私がなのはと出会いプレシア母さんと別れてしばらく経った後

あの頃は、「ただ、なのはと一緒にいられることが嬉しくて。
これからは、「二人ですつとこの空を飛んでいられたら、そう思っていました。



そんなある日、「見せられた、一枚の写真。
それには、「はつきりと、私となのはの姿がありました。



写真を手に、「先生は一言、「私に告げたのです…。
「この写真が欲しいなら、放課後、「二人で体育倉庫まで来なさい」

*このお話に出てくる人は全員 **18歳**以上です。

写真を返してもらい
日常を守る…
頭にあるのは
それだけでした。

ちゃんとスカートを
たくしあげて

はい…

もっと近くで
見せてもらおう？

恥ずかしい…
恥ずかしいっ！

先生は私に
局部を晒すように
言いました。
男の人に性器を見られる
羞恥心が私を苛みます。

はら…どうぞ

ぽ
ろ
と

ぐすっ…

ぽ
ん

執拗に私の局部を
弄り続ける彼…
私はただ 終わるのを
待つことしかできません。

息が弾み、
身体の芯から
熱いものが溢れてきます。
意志とは裏腹に
身体はこの行為に
反応しているのです。

くちゅ、くちゅ、
くちゅ、くちゅ、
くちゅ、くちゅ、
くちゅ、くちゅ、

「そろそろいいかな」
そう告げ突き出されたのは
醜悪な赤黒い塊…
それは、私がされることを
想像させるに十分でした。

こういう事は 当然
初めて…だよな？

…はい！

じゃあ まあ
痛いかもしれないが
コレだけ濡れてれば
いいだろう！

ああ
ああ

じゅわんじゅわん♡

じゅわんじゅわん、
じゅわんじゅわん、

くっ♡

トロッ…

大きすぎるそれは
膣を無理やり広げ
一気に奥まで私を
蹂躪しました。

…私の処女…
無くなつ…ちやつた…

肉が引き裂かれる
ような感触。
お腹の奥を突かれる衝撃。
それが私の
「初めて」の経験でした。

しかし、
そんな感傷に浸る
猶予ありません。

処女膜を
裂かれたばかりの私は
道具のように扱われ
泣き叫ぶしか
ありませんでした。



フェイト!
膣内に出すぞ!?

いや、
外に

じゃあ、
この制服にかけると
それでいいの?

嫌っ! やめて
膣中に出して
いいですからっ!



大事な制服を
汚されることを
拒んだ私への代償…

そうか!
なら望みどおり
膣内に出してやる!

大量の精液が
膣内を満たす絶望感に
私は涙をこらえる事が
できませんでした。



では・約束どおり
「この」写真は君にあげよう



だが 実は
今日した事 全部
隠しカメラで動画に撮っていたんだ
この意味、わかるよな？

ショックと痛みで混濁する意識の中、先生の言っていることはよくわかりませんでした。
ただ、彼の口元に浮かんだ笑みをみて、私にも、なんとなくわかったことがありました。

ああ・・・終わったんじゃなく、始まったんだと。

それから私は
毎日 授業の後
補習と称し性行為を
強要されました。

ある時は
排泄の穴を
犯され…

私の意とは無関係に
激しく体を動かされ
直腸内に射精
されました。

ある時は廊下で裸になる事を強要され…

お願い…っ
誰も来ないでっ!!

誰も来ないでえ…

そのまま犯されおま●こから精子が噴き出すほど射精されました。

射精された後も服を着るまで私は誰かが来る恐怖に怯えています。

こんなところ誰かに見られたら私…私…

ニャーん。

ニャーん
ニャーん
ニャーん
ニャーん
ニャーん

ニャーん
ニャーん

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

はっ
はっ

はっ
はっ

ハッ
ハッ

ブル

ブル

ブル

ブル

ガンガッ

ガクガク

ニャーん

ニャーん

「犯す時用の制服」を
先生が買ってきてから
この行為はさらに
エスカレートします。

しかし、
激しさを増す行為の中
私の体は 次第に…

犯されることに
快感を感じ
はじめていました。

私…教室で…
こんな事しちゃった…



しかし
私はそれを認めたく
ありませんでした。

私：
学校のトイレで
犯されちゃってる……！

ちゃんと後片付けして
おくんのだぞー！

認めてしまったら
自分の中で何かが
終わってしまう……

守りたかった日常が
壊れてしまう……
そう思っていたのです。

それから
一週間ほど経った頃…
信じられない事が
起こりました。

フェイトちゃんには
改めて紹介する
必要はないかな

先生に連れられ
なのはが体育倉庫に
やってきたのです。

高町なのはさんだ

君と一緒に
「補習」を受けたい
そうだよ？

なのはが
びしょ濡れで…

なのはは
私の異変に
気づいたのです。

ごめん…
なのは…

私…わたし…

いいんだよ
フェイトちゃん…
何も言わないで…

その上で
自分も 私と同じ境遇に
なる事を望んだ…と
先生に教えられました。

先生は私に
なのはが初めてでも
痛くないように…
性器を愛撫するように
命じました。

私は一生懸命 なのはの
お●んこを舌で舐め…
指先で優しくなで上げ…
せめて彼女が痛みをともしなう
処女喪失をしないように願
行為の準備をしました…。

ハハハハハハ

ムクムク

ズズズズ

ドクドク

ムクムク

チク
パ

チク
ムク

チク

ムクムク



先生が「もう十分だ」と言った時...
なのはの頬は高潮し
股間には 私の唾液でない
液体が流れ出していました。

ドキドキ

…フェイトちゃん…

ちゅん

びるっ

ガクガク

ガクガク

ムムムム

とろろ



さあ行くよ…
なのはちゃん!

そして…
ついに なのはに
先生のペニスが
押し当てられます…

ビュッ

ちゅん

あせ

ビュッ

びる びる

ガクガク

びん

なのはに
先生のペニス
が
突き刺さります。

なのはは 一瞬
苦しそうな顔をしましたが
先生が次第に
挿入の速度を早めていっても
痛がるようなそぶりを
見せませんでした。

その様子を見て 先生は
遠慮なく腰を振り始めました。
なのはの小さな体は
その度にかくかくと震えます。

限界の時…
先生は私の時と同じように
なのの中に
精液を激しく放しました。

あああ
あああ

はああ

あああ
あああ

あああ
あああ

なのはは 膣内射精され
おま●こから
精液が溢れ出していました
痛みは感じていないようです。
私はそんな彼女の体に
そっと口付けをしました。

そして…今では
私達は二人で毎日
先生とHな事を
しています。

私達の
新しい「日常」が
そこにはありました。

ト
ヒ
ユ

び
ゅ
く

ひ
ゃ
る

一人では辛かった事も
なのはと一緒なら
キモチイイ事に…

ハ
ッ

認めたくなかった
快感も素直に
受け入れられる
ようになりました。

ぶ
ち
ゅ
り

ハ
ッ

ハ
ッ

ハ
ッ

ハ
ッ

び
ゅ
く

び
ゅ
く

先生はそんな私達を
さらにHな子にする
気らしく...



色んな道具を購入し
私達を開発していく過程を
録画して記録に残そうと
考えているようです。



ちよつと
怖い気もしますが
きつと大丈夫…

なのはと一緒なら
どんな事でも
できるはずです。

ひよつとしたら
いつか…
その記録が、

皆さんの
目にふれる事が
あるかもしれません♪

『NextPreview』 サークルインフォメーション

<http://preview.sakura.ne.jp/>



『NextPreview』はMIAと春日木雅人が、
まったりとやっているサークルです。

現在の活動ジャンルは
『魔法少女リリカルなのは』です。

イベントは、夏コミ冬コミを中心に、
色々なイベントに参加しています。

HPも それなりに更新してますので、
どうぞ見に来てください。

既刊紹介



同人誌即売会にて、配布中です☆

魔法少女…バしました。

これだけの男子に
目撃されると
いくら先生でも
庇いきれないなあ…

ぐぬぬ…

従えば…

本当に黙っててもらえるんですね…

俺テストロッサ!

僕も!

え

なに

金髪

フイトちゃん…
はあああ

男子たちは、なぜかみんな
私のほうにばかり寄って来ます

最初は控えめだった
男子たちの要求は

パンツだ!
パンツ見せてよ

ああ…

あ

だんだんと
エスカレート
してきて…

ぱんつ!

ぱんつ!

いいやあっ…!

抵抗しない私に
気をよくした彼らが
襲い掛かってくるのに
そんなに時間は
かかりませんでした

抵抗して
いいの…?

っ…



裸に剥かれた私は
皆の好奇の目に
晒されました



これが
フェイトの
ま〇り...

触っても
いいのかな
これ...

ほごうごえー

いやあー



いざ...

やめあ...



これ...
処女膜?

フェイトちゃんの
...処女?...

僕が...

いや、俺が
貫うっ

くぽ



フェイトのっ...
俺がっ...はじめて

ムム?
ムムムムム...

プレシア母さんから
一つ残してもらった
大事な身体!

やめよっ

やっ...

ね?

うわおっ

やっ

いやっ

痛...?

いやああっ!

その純潔の証しは
予想もなかった
形で...あつけなく
散らせてしまいました

ブッ
ブッ

私は……一対一で先生を相手しました



これで満足ですか？先生

いいねえ、その挑戦的な目……そうじゃなくちゃね



でも、それが君の全力じゃないよねえ？

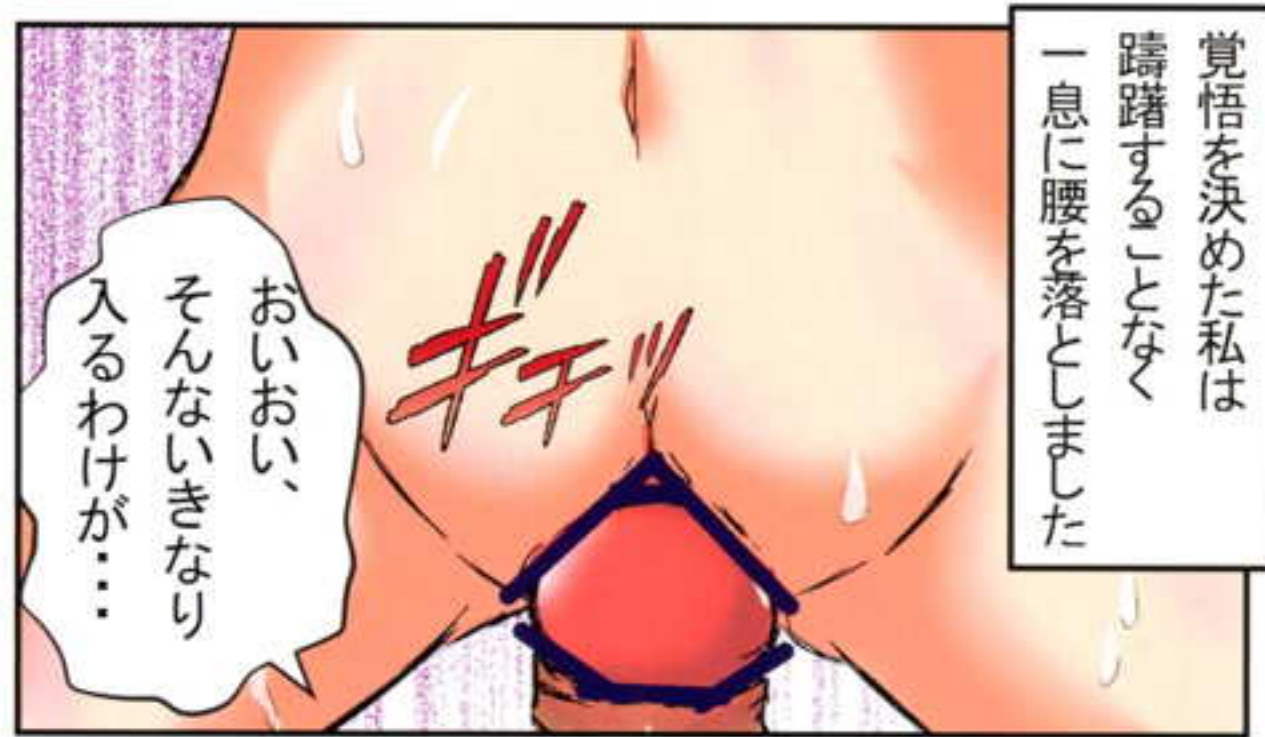
……



わらひのなかにおひんひんいれれば

自分がなんとかする……私はそのことだけ考えていました。

ひひんれふよね……？

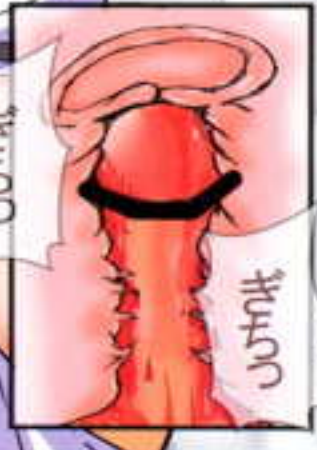


覚悟を決めた私は躊躇することなく一息に腰を落としました

おいおい、そんないきなり入るわけが……



いぎっ……



ああ、裂けてるわちゃんと考えてから行動しろ、高町？

あ……れ……？私……おなか……破け……？

おびただしい出血と激痛……この状態で皆の相手をする私は後で酷く後悔することになります

そして、彼らの欲望は
私の純潔を奪うだけでは
満たされるわけもなく……
ついに……

駄目っ……

それだけは
ダメっ……!!

嫌っ……

やだめっ……!!

いや……っ
膈内っ……

でも、私たちの苦難は……
まだ始まったばかりだったので

じゃあ、次俺ね！
俺がナカダシする！

じゃあ、明日は
僕が最初ね！

俺、あさって！

え……っあした？
あさって……？

えっ……？

春日木コメント：
今回のコンセプトは「フルカラーで陵辱本」
久しぶりのフルカラー本でしたが大変でした（汗
もう少しページを増やして、調教まで行きたかった
のですが間に合いませんでした。
つ、次こそは……！

MIAコメント：
風邪は引くわ、ページは予定に
足りないわで大変でした。。。とほー
もうフルカラーはこりこりだよ！><

なのはい
フルカラー
フルカラー

発行 NextPreview
印刷 サンライズパブリケーション様
発行日 2012/08/12
連絡 mia@preview.sakura.ne.jp
HP http://preview.sakura.ne.jp